競　技　注　意　事　項

１　競技規則について

本記録会は、２０２６年度（財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本記録会要項及び申合せ事項よって行う。

２　競技場使用について

（１）　ウォーミングアップは、バックストレート等を使用する。
（２）　競技において、裸足は、一切禁止する。
（３）　雨天走路内は、雨天時の招集所、および、選手の控え場所として使用する。更衣室の利用も可能です。

３　競技者の招集について

（１）　トラック競技の招集は、雨天走路内の選手招集所とし、フィード競技の招集は、各ピットとする。
（２）　招集時刻は、競技開始時刻１０分前を原則とする。
（３）　競技者は、招集時刻までに、各招集場所に集合し、点呼を受け、係員の誘導に従って入場する。
（４）　競技への出場をやむを得ず棄権する時、招集時刻までに本人、もしくは、コーチ等が、その旨を情報処理係と競技者係に連絡する。

４　競技運営について

（１）　レーンで行う競技種目について、３年の１００ｍは、１・３・５・７・９の奇数レーン、４０ｍＨは、２～４レーン、８０ｍＨは、５～７レーンを使用し、棄権者があった場合、そのレーンは、空けたままとする。
（２）　時計は、写真判定機（1/100秒）とする。
（３）　トラック競技は、全てタイムレース決勝とする。
（４）　小学３年生以上は、スタブロを使用し、コールは、全てインクグリッシュコールで行う。
（５）　フライング（不正出発）は、３回で失格とする。
（６）　４０ｍＨは、高さ５０㎝、台数４台、アプローチ１３ｍ、インターバ６．５ｍ、８０ｍＨは、高さ７０㎝、台数９台、アプローチ１３ｍ、インターバ７ｍとする。
（７）　高跳び、走高跳は、同一の高さ３回以内の試技とし、正面とび（はさみとび）を有効試技とする。脚から着地しない場合は、無効試技とする。
　○バーの上げ方は次の通りとする。
　　・高跳
　　（練習 70）80　85　90　以降５㎝ずつ上げる。
　　・走高跳
　　（練習 90）95 100 105　以降５㎝ずつ上げる。
（８）　立幅跳、幅跳びは、２回試技とし、走幅跳ジャベリックボール投は、３回試技とし、有効試技のみ計測する。全てファウルの場合は、最終試技を参考記録として計測する。幅跳びの助走距離は、１０ｍ程度とする。
（９）　抗議は、競技規則第１４７条③にのっとり、審判長に口頭で申告する。

５　ナンバーカードについて

○トラック競技は、全ての種目、腰ナンバーシールを右臀部に貼る。

６　用器具について

○競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

７　表彰について

○各種目６位以内の選手に賞状を授与する。

８　その他

○速報記録は、ＭＪＲホームページに随時掲載する。

ＱＲコード